

教育通信

25年度 第8号
通巻1818号発行所：
高知県教職員組合
〒780-0850
高知市丸ノ内2-1-10
TEL088-822-4135
FAX088-823-2355全教職員
配布
読んでね

県教組HPは

↓こちらから



安心・安全な給食の実施を

栄養士部が県教委に要望

学校給食は、子どもたちの成長を願いながら実施されるものです。安心・安全な「食」をめざして、原材料に気を配り、「地産地消」なども視野に入れた準備を進めています。また、好き嫌いの多い子どもたちもいる中で、栄養のバランスやカロリーなども考えて、みんなに美味しく、楽しく食べてもらえるように、調理方法なども工夫しながら、作っています。その給食を支えているのが学校にいる栄養教諭・学校栄養士（以下、栄養教諭）です。

アレルギーのある子どもにその対応をした給食を間違いないように配膳したり、全員の食の残しの量などから次のメニューを工夫したり、時には「食育」の授業を担ったり、学校にいるからこそ出来る仕事もたくさんあります。

ところが、こうした大事な仕事をする栄養教諭ですが、給食を実施の全校に一人ずつ配置されているわけではありません。給食のセンター化が進む中で、学校現場から離れて仕事をしている人も増えています。（高知県教組も加盟する全日本教職員組合では、給食を実施している全校への配置を要望しています。）

今年度、安芸市で、自校方式で給食を実施していた学校が3校から2校に減少し、その3校を担当していた栄養教諭が引上げになりました。そして、給食センターに配置されている栄養教諭が、給食センターと自校方式の2校も担当することになりました。

文科省の栄養教諭の配置基準では、549食以下の自校方式校の4校に1人の栄養教諭を配置すること（1、3校の市町村には1名配置）を前提に、県全体の栄養教諭の配置人数が計算されます。そして、その全体数

下に、県下各地の学校に配置されます。ただ、どの学校に配置するかは、県教委の判断です。安芸市には自校方式の給食実施校は今年2校しかありません。そこで、自校方式の学校には配置がなかったものと思われま

強く要望しました。また、現在安芸市が事務補助のために雇っている人（栄養教諭の資格を有する人）を臨時教員で雇うように要望しましたが、県教委は否定的でした。

要望書の鑑文にもありますが、アレルギーを持つ子どもを通わせている保護者からは、「昨年度は見られなかったケアレスミスが増えていて心配する」という声も聴かれています。アレルギー対応は、子どもの命に直結する場合があります。安心・安全な給食を守るためにも、栄養教諭の十分な配置は必要です。

10月31日、栄養士部が別紙（3面参照）の要望書を県教委に渡しなが

高知県教組では、これからの点を要望し続けま

「やりがいいがある」「楽しいよ」と思って学校現場に勤務する立場から言えば「残念ながら」という形容詞をつけて言いますが、全国的に教員不足が深刻。教員志望者が減少▼全国的には、臨教の取り合いも。採用審査を受審した人には「ぜひとも、ウチの県で臨教を」と頼み込んでも不足の状態▼「郷里だから来てよね」「大学をここで学んだから来てよね」程度ではダメ。どれだけ魅力がアピールできるかが大事▼そんな中、千葉県は大きなアピール。日本学生支援機構の奨学金の返済を、千葉県県の採用審査に合格した人に全額補助するというもの（最大3百万円超、詳細は省略）。

「千葉へ来てよね」の大きなアピール▼翻って我が高知県。「自然が織りなす穏やかな時間」（県教委PR動画）ではない、高知の教職員の待遇にはこんな素晴らしい点があるよと言えものは何？教育長、答えて！（和）

美味しい給食
うれしいな！



これを守ろう！

県教研、多数の参加で開催！ 明日へつながる学びを深める！



11月1・2日、「語ろう学ぼう2025教育のつどい」(第75次高知県教育研究集会、略称・県教研、同実行委員会主催)を、四万十市立蔵岡小学校を会場に開催しました。参加者は、のべで約120名以上でした。

(14時45分から17時まで)が行われました。

課題別分科会に出されたレポート数は19本。様々な内容の実践が持ち寄られ、報告しあい、学び合いました。

記念講演は、野井真吾さん(日本体育大学、写真左)。演題は、「子どものからだと心の現状と遊びの可能性」。今の子どもに現れている「危機」を見事に資料から浮き彫りにし、その対策についてもお話しいただきました。

子どもたちにどう接していけば良いのか、学ぶことが出来ました。

感想の一部・お一人のものを紹介します。「『光、暗闇、外遊び』が心に

刺さるメッセージでした。その内容が私にも心に刺さりました。とても参考に、また勉強になりました。」

2日目は、8つの教科別分科会(9時半から14時半まで、休憩1時間は前日と同じ)が行われました。

教科別分科会に出されたレポート数は、20本。授業作りの観点から地域の教材を学ぶために、地域に出て行った分科会もありました。

2日間とも、熱心な討議が行われました。その結果、10本のレポートを来年度に行われる全国教研に高知県代表として送ることが決定されています。

分科会参加者の感想も、いくつかご紹介します。

【国語・Aさん】
国語科の指導にお



いて大切なこと・大事にしたいことを確認する機会になりました。図書の実践、参考にしてやってみたいのです。

【子どものからだどころを育てる教育・Dさん】

レポートを深める中で、今度挑戦したいことややりたかったことも見えてきたので、来年度以降もまだ発展させていきたいと思った。子どもの実態、背景に応じて、声かけや支援の仕方を変えていくこと、地域で子どもを育てることの重要性を感じた分科会だった。今年度のゴール

が達成できたら、次のステップへつながりを持つたとりくみができるように、継続していきたいと思う。

【子どもの人権・ジェンダー平等の教育・Eさん】

いかに学校が管理主義になつて、子どもが主体的に意見を言える人間に育てる場になつていないことをあらためて感じました。子どもを育てるといふことを一番に、どう育てていくかを中心に学校づくりをする必要があると思います。



実行委員会から、次の呼びかけがされています。

「2日間、忙しい日常をこなしている中で、三連休とはいえ貴重な休日を2日間も費やして参加して下さった皆さん、本当にありがとうございます。また、全体会講師の野井さんを始め、多くの研究協力者の方々、集会を支えてくれたスタッフのみなさん、何より会場をお貸しいただいた蔵岡小学校のみなさん、本当にありがとうございます。感想の中にも、多くの学びがもたらされた喜びがあふれています。この集会での学びを、これからの実践に生かしていきたいでしょう。」

9条の碑をつくるこうちの会 にあなたも入りませんか。

「今また誤った歴史が繰り返されようとしている」と懸念される今、悲惨な戦争を体験して80年前に誕生した平和憲法に込められた決意に、私たちは思いを馳せる時です。

そこで、高知にも9条の碑をつくり、平和を作る運動を広げていきませんか。

※個人会員・一口1000円(口数制限なし)

※現在、碑のデザインも募集中。

★詳しい内容を書いた申込用紙は、
高知県教組HPに掲載中。

栄養士部が、10月31日に県教委に提出した要望書

栄養教諭・学校栄養職員の配置に関する要望書

～安芸市の単独実施校へ栄養教諭・学校栄養職員を至急配置してください～

本年度、4月時点で安芸市の単独実施校の給食施設において、栄養教諭・学校栄養職員の未配置が発生しており、そのために共同調理場に配置されている栄養教諭が単独実施校分の給食業務も任されている事態が起こっています。その結果、共同調理場の受配校である中学校に所属する食物アレルギーをもつ保護者から、「昨年度には見られなかったケアレスミスが増えていて心配する」という声が寄せられています。

このままでは、食育はもとより安全安心な学校給食ができない状況です。栄養教諭・学校栄養職員不在のまま実施を続けると、食物アレルギー事故が起こる危険性があります。

「単独実施校」と「共同調理場」の栄養教諭・学校栄養職員をそれぞれで配置してもらえるよう以下の二点を要望します。

記

- 高知県が推奨する食教育を実現するために、また、安全で豊かな学校給食の実現と給食を通じた食教育の充実のためにも、安芸市の単独実施校の栄養教諭・学校栄養職員の配置を行うこと。
 - 単独実施校が2校ある安芸市に、単独実施校担当の栄養教諭・学校栄養職員を1名配置すること。配置人数の算定については、単独実施校と共同調理場が1つの市町村にある場合には、それぞれに計算して配置すること。その値が1未満になった場合でも0にすることなく、必ず1名配置すること。
 - 共同調理場担当栄養教諭に、単独実施校の兼務発令をしないこと。
- 今後も「単独実施校」と「共同実施校」が混在している市町村には、このような事例が発生しないようにすること。

人権共闘が、結成50周年の学習会を実施

10月25日午後、「人権と民主主義、教育と自治を守る高知県共闘会議」(人権共闘)の「結成50

周年記念集会」が、高知城ホールを会場に行われました。参加者は66名でした。記念講演は、結成

当初から関わってくださっている鎌田伸一先生。演題は、『黒潮は流れてやまず』人権共闘と歩

んだ50年を語る』でした。以下、その内容をご紹介します。最初の着任校で同和教育局主任になったばかりの時に糾弾事件に遭うなどの体験から、疑問を持ったのが、部落問題と関

わるきっかけだったそうです。そして1974年当時、兵庫県で起こっていた朝来事件や八鹿高校事件などから運動を全国的に広げる必要があると考え、人権共闘の前身となる「解同浅田派の暴力から人権と民主主義・教育と自治を守る高知県連絡会」を結成。運動を進めて来られたそうです。

当時は、高知県でも、子どもの発言を校内で対処するのでなく運動団体に報告し、「学習会」と称した糾弾会が行われる、ゼッケン登校が行われる、いわゆる「子ども会」に教員の参加が輪番で強制される、子どもたちやその自治体の新任教職員にフィードバックが行われるなど、いろいろな問題がありました。

そんな中、一ツ橋小事件(1988年、学校近辺の落書きを理由に特定教員に部落民宣言を運動団体の役員が迫った事件。1997年最高裁で、

人権侵害事件として勝利判決確定)や澤谷事件(1990年、運動団体の教育介入圧力に対応していた朝倉中・澤谷校長が過労死。2002年、高知地裁で公務災害認定の勝利判決確定)など、いろいろな歴史があった事にも触れられました。最後に、次の言葉を語られました。「土佐の自由民権運動の歴史の流れの中に生きる私たちの誇りと責務を持ち続けよう。そして、黒潮の流れが

止むことがないと同じように、自由と民主主義を確立するたにかいは続くので、頑張ろう」。



教職員のための自動車保険は



全教自動車保険

教職員と家族を守って35年

WEBでかんたん
見積依頼



右のQRコードから見積り依頼を⇒

お問合せは代理店ケンキョーまで ☎ 0120-459-813

高知県内の四国88カ所霊場巡り⑧

1	2	3	4	5	6
7					
8					
9			10	11	
12					
13			14		

【タテのカギ】

1. 著作物などの内容要約したもの
2. 文章などを一息に書き上げること
3. 読めるかな? 「二幅」。二枚の布を縫い合わせた幅のこと。
4. 地面に打ち込んで、地盤を固めること

【ヨコのカギ】

1. つきたての餅を薄くのばし、中にアンを包み込んだもの。
7. マンツーマン、日本語で?
8. 直接、相手に納めること
9. 中国南北朝時代の僧。禅宗の第二祖。達磨に師事。
10. キク科の野菜。緑色でしゃもじ形の葉を持つ一年草。サラダなどに利用。
12. サ行。さし〇〇
13. くつつきワードふ〇〇、ひ〇〇き、〇〇かけ
14. イースター島にある〇〇〇像

かぎを解いて二重枠に入る4文字で、

高知県内にある四国88カ所霊場のお寺の名前(〇〇寺、解答には寺をつけてね)を作って下さい。①解答②郵便番号・住所③氏名(匿名希望の方はペンネーム可、ただし本名は忘れずにお書きください)④職場名⑤職場の話題か教育通信の感想、を書いてメールまたは葉書で送って下さい。締切は12月25日(木)。3名の方に図書カードを進呈。⑤は紙上で紹介させていただきます。

【60秒の当選者】

「金剛福(こんごうふく)寺」(第38番、土佐清水市・足摺岬にあります)でした。抽選の結果、次の3名が当選されました。

【みなさんの声より】

ました。おめでとうございます。
さっちゃんさん
(第四小)
ハシビロコウさん
(江の口特支)
ぶくびこさん
(東又小)

○音楽会に向けて、力を合わせて、がんばっています。

○熱中症アラート発生の頻度も減り、朝夕の少しひんやりした空気に本格的な秋の到来を感じます。

皆さんにとっては何の秋ですか? 私はやはり食欲の秋かな。冬に予定されている人間ドックに向けて、調子に乗りすぎないように秋の味覚を楽しむたいと思っています。

○職場の悩みを二つ! 定年退職年齢延長に伴い、60歳からの働き方。小学校における英語教育について。

○生徒と昆虫採集に行きました。暑さの中にすっかり季節の移り変わりがあり、自然の中で子ども達が成長していく様子

【12月初めの行事のお知らせ】

- ①12月6日(土)
「まもろう平和なくそう原発」
10時から、中央公園にて
- ②12月7日(日)
「12・8平和のつどい」
13時半から、ソーレで

詳細は、
県教組HPで。

メールはこちら



るところからやりましょう。併せて、国や県教委で『働き方改革』をしてほしいものです。

○2地区に分かれて行われていた町の陸上記録会が、今年初めて一堂に会して開催されました。いつもと違う空気感の中で思うように力を出し切れず涙する子、自己ベストを更新して喜ぶ子。様々な思いが交錯する本番となりましたが、それぞれの学校の活躍ぶりが良い刺激となり、貴重な交流の機会にもできたと思います。